

あわや大惨事！

豊橋駅・鋼板巻き上げホーム窓直撃事故で申し入れ！

9月30日、豊橋駅において新幹線列車の通過時に列車が巻き上げた重さ1キロの鋼板がホーム窓を直撃する事故が発生しました。

会社は、ホームページに「ホーム窓ガラスひび割れについて」と事故概況などを掲載しています。しかし、このような表現は、ことの重大さを誤魔化す以外のなにもものでもありません。問題は、「窓にひびが入った」のではなく、1キロもの鋼板が飛んだという事実です。もし、ホームの乗客や通行人などを直撃したら大惨事です。にもかかわらず謝罪の一言もありません。

さらに、労働組合に対する事故概況説明や再発防止対策などの説明についても一切行われていません。このような姿勢は、安全確立とは無縁です。したがって、事故に対する会社の見解を求めると共に、二度と同種事故を発生させないために、協議の場を持つよう以下の申し入れを行いました。

1. あわや大惨事であった今事態に対する見解を明らかにすること。
また、事故概況と現時点の原因と対策を明らかにすること。
2. このような重大な事態が発生しているにも関わらず、なぜ会社から労働組合に事故状況の説明等を行う協議の場を設けようとしなのか、その考え方・見解を明らかにすること。
3. 豊橋駅では、過去にも高速運転に伴うバラスト巻き上げ事故が発生し、ホームにいた乗客が負傷する事故が発生している。その時も、まさにあわや大惨事の事態であった。しかし今回、その教訓が何ら活かされず、またもや重大事故が発生した。そのことに関する会社の見解を明らかにすること。
4. 今回の事態に対する、当該乗務員への対応はどのようになっているのか明らかにすること。
5. 利用者・乗客など、特に豊橋地区の利用者などに対する「お詫びと説明」を具体的にどのように実施するのか明らかにすること。

バラスト巻き上げ事故の教訓活かされず！
再び同種事故発生！